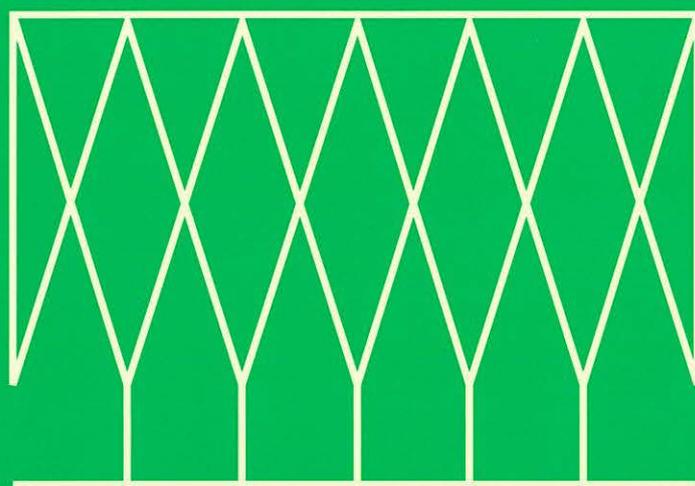


島根大学医学部紀要

— 43 —



令和 2 年

島根大学医学部

<http://ir.lib.shimane-u.ac.jp/journal/M-SDI>

原著論文

井上悦子・小笹美子・榊原 文：

骨髄バンクコーディネーターの職務におけるやりがいと困難 ……………(1)

佐藤 直・本田 学・狩野賢二・近藤正宏・森山繭子・村川洋子：

Moodle を活用した関節エコー教育プログラムの開発 ……………(13)

佐藤 直・高橋伸幸・狩野賢二：

Webex とシミュレータを併用した遠隔心音聴診の教育プログラム開発 ……………(19)

研究報告

柳楽桃香・日野佳菜恵・小笹美子・新宅真衣・太田来奈・神庭芽依：

看護学生と看護師の排泄援助に対する倫理的ジレンマ ……………(25)

吉川優子・小笹美子・榊原 文・藤田麻理子：

B 市における高齢者サロン参加者の役割認識とその関連要因 ……………(33)

症例報告

松原加歩・山本 徹・百留亮治・荒木亜寿香・平原典幸・田島義証：

抗 SRP 抗体陽性多発性筋炎に合併した S 状結腸癌の一例 ……………(41)

学位授与

2020(令和 2)年 1 月 - 12 月 ……………(47)

SHIMANE DAIGAKU IGAKUBU KIYO
(BULLETIN OF SHIMANE UNIVERSITY FACULTY OF MEDICINE)

Vol. 43

2020

Original Paper

Etsuko INOUE, Yoshiko OZASA, Aya SAKAKIHARA:

Fulfillment and Difficulties in Job of Marrow Donor Program Coordinators(1)

Nao SATO, Manabu HONDA, Kenji KARINO, Masahiro KONDO, Mayuko MORIYAMA,

Yoko MURAKAWA:

Development of a Joint Echography Training Course Using Moodle(13)

Nao SATO, Nobuyuki TAKAHASHI, Kenji KARINO:

Development of Remote Heart Sounds Auscultation Program Using Webex and Simulator(19)

Research Report

Momoka NAGIRA, Kanae HINO, Yoshiko OZASA, Mai SHINTAKU, Rana OHTA, Mei KANBA:

The Ethical Dilemma of Nursing Students and Nurses for Excretion Assistance(25)

Yuko YOSHIKAWA, Yoshiko OZASA, Aya SAKAKIHARA, Mariko FUJITA:

Role Recognition in the Elderly Salon in B City and Factors to Maintain Health(33)

Case Report

Kaho MATSUBARA, Tetsu YAMAMOTO, Ryozi HYAKUDOMI, Asuka ARAKI, Noriyuki HIRAHARA,

Yositsugu TAZIMA:

A Case of Anti-SRP Antibody-Positive Polymyositis Associated With Early Sigmoid Cancer(41)

Degrees Granted(47)

学位授与 2020(令和2)年1月-12月

学位の種類：博士(医学)

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	発表雑誌名・年・巻・ページ	主査	副査
加藤 隆夫	甲第534号	2020年 3月18日	Low-dose Rectal Diclofenac Does not Prevent Post-ERCP Pancreatitis in Low- or High-risk Patients	Journal of Gastroenterology and Hepatology. 2020; 35: 1247-53.	田島 義証	紫藤 治 申山 義則
石橋 朋佳	甲第535号	2020年 3月18日	High Frequency of PIK3CA Mutations in Low-Grade Serous Ovarian Carcinomas of Japanese Patients	Diagnostics. 2019; 10: 13.	並河 徹	吉山 裕規 兒玉 達夫
小池 尚史	甲第536号	2020年 3月19日	Histological Analyses of Bacterial Cellulose as a Carrier for BMP-2 in Bone Regeneration in Japanese White Rabbits	Journal of Bio-Integration. 2018; 8: 95-100.	谷戸 正樹	内尾 祐司 松本 健一
馬庭 恭平	甲第537号	2020年 3月19日	Association Between Cystatin C Gene Polymorphism and the Prevalence of White Matter Lesion in Elderly Healthy Subjects	Scientific Reports. 2020; 10: 4688.	稲垣 正俊	竹下 治男 横田 茂文
萩原 伸哉	甲第538号	2020年 3月19日	Factor for Diagnosis Delay on Symptomatic Dural Arteriovenous Fistula in Central Nervous Systems	Shimane Journal of Medical Science. 2019; 36: 11-21.	北垣 一	谷戸 正樹 平野 章二
ISLAM RAFIAD	甲第539号	2020年 3月19日	Theobromine Improves Working Memory by Activating the CaMKII/CREB/BDNF Pathway in Rats	Nutrients. 2019; 11: 888	藤谷 昌司	土屋美加子 稲垣 正俊
Kim Hyoji	甲第540号	2020年 3月19日	A Single Nucleotide Polymorphism in the BART Promoter Region of Epstein-Barr Virus Isolated From Nasopharyngeal Cancer Cells	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2019; 520: 373-378.	和田孝一郎	原田 守 竹谷 健
榊原 賢司	甲第541号	2020年 3月19日	Effects of an Intrathecal TRPV1 Antagonist, SB366791, on Morphine-induced Itch, Body Temperature, and Antinociception in Mice	Journal of Pain Research. 2019; 12: 2629-36.	紫藤 治	和田孝一郎 佐倉 伸一
陳 摯 (Chen Zhi)	甲第542号	2020年 3月19日	Molecular Mechanism of Matrine from Sophora Alopecuroides in the Reversing Effect of Multi-anticancer Drug Resistance in K562/ADR Cells	BioMed Research International. 2019; 2019: 1269532.	磯部 威	鈴宮 淳司 中山健太郎
仝 雪霞 (Tong Xuexia)	甲第543号	2020年 3月19日	Protein Tyrosine Kinase 2: A Novel Therapeutic Target to Overcome Acquired EGFR-TKI Resistance in Non-Small Cell Lung Cancer	Respiratory Research. 2019; 20: 270.	浦野 健	椎名 浩昭 岡本 貴行
中島 和寿	甲第544号	2020年 3月19日	A Phase II Study of Palonosetron, Aprepitant, Dexamethasone and Olanzapine for the Prevention of Cisplatin-based Chemotherapy-induced Nausea and Vomiting in Patients With Thoracic Malignancy	Japanese Journal of Clinical Oncology. 2017; 47: 840-3.	石原 俊治	大野 智 鈴木 律朗
原 友美	甲第545号	2020年 3月19日	Role of Kisspeptin and KissIR in the Regulation of Prolactin Gene Expression in Rat Somatolactotroph GH3 Cells	Endocrine. 2019; 63: 101-11.	金崎 啓造	土屋美加子 尾林 栄治
山下 瞳	甲第546号	2020年 4月8日	Relationship between Microsatellite Instability, Immune Cells Infiltration, and Expression of Immune Checkpoint Molecules in Ovarian Carcinoma: Immunotherapeutic Strategies for the Future	International Journal of Molecular Sciences. 2019; 20: 5129.	竹谷 健	丸山理留敬 管野 貴浩
大西 薫	甲第547号	2020年 11月4日	Mucinous Borderline Ovarian Tumors With BRAFV600E Mutation May Have Low Risk for Progression to Invasive Carcinomas	Archives of Gynecology and Obstetrics. 2020; 302: 487-95.	磯部 威	浦野 健 飯笹 久
長野菜穂子	甲第548号	2020年 12月22日	Immunohistochemical Expression of Filaggrin Is Decreased in Proton Pump Inhibitor Non-Responders Compared With Proton Pump Inhibitor Responders of Eosinophilic Esophagitis	Esophagus. 2020. doi: 10.1007/s10388-020-00781-2.	並河 徹	森田 栄伸 岡本 貴行

氏名	学位記番号	学位授与日	論文名	発表雑誌名・年・巻・ページ	主査	副査
三浦 聖高	乙第330号	2020年 9月2日	Comparison of the Chest Computed Tomography Findings Between Patients with Pulmonary Tuberculosis and Those with Mycobacterium avium Complex Lung Disease	Respiratory Investigation. 2020; 58: 137-43.	北垣 一	佐野 千晶 玉置 幸久

学位の種類：修士（医科学）

学位授与日：2020(令和2)年3月19日

氏名	学位記番号	論文名	主査	副査
松村 初恵	医修第149号	シミュレーション教育における指導者の感情分析と課題解決への取り組み	原田 守	狩野 賢二 並河 徹
加藤 智久	医修第150号	臨床工学技士における的手法血圧測定の有用性について	熊倉 俊一	原田 守 並河 徹
秋山 愛	医修第151号	Effect of Backward Chaining using Origami in Occupational Therapy	中村 守彦	和田孝一郎 馬庭 壯吉
石田 学	医修第152号	深層生存分析によるアルツハイマー型認知症の発症予測	藤谷 昌司	北垣 一 長井 篤
大國 翼	医修第153号	新生児マススクリーニングを目的とした血液ろ紙検体中のiduronate-2-sulfatase (IDS) 酵素活性測定におけるLC-MS/MS法と蛍光測定法の比較	北垣 一	桑子賢一郎 長井 篤
大坪かなえ	医修第154号	フィジカルアセスメント・心音聴取の教授法に関する考察	廣瀬 昌博	狩野 賢二 並河 徹
門脇 康浩	医修第155号	言語聴覚士会会員配置から見た鳥根県の地域包括ケアにおける課題に関する研究	吉山 裕規	織田 禎二 廣瀬 昌博
加納 正也	医修第156号	インシデントレポートや診療録から見た医療従事者の医療安全に対する意識	織田 禎二	吉山 裕規 廣瀬 昌博
木村 知広	医修第157号	機械学習による退院時要約からのDPC分類の推測	椎名 浩昭	馬庭 壯吉 津本 周作
高野 恵	医修第158号	ユビキチン様タンパク質MNSFβによる糖代謝制御	和田孝一郎	長井 篤 中村 守彦
木場 祥乃	医修第159号	遺伝的高血圧・脳卒中モデルラットを用いた脳卒中発症と腎障害の関連に関する基礎研究	吉山 裕規	狩野 賢二 並河 徹
佐藤 千晃	医修第160号	座位姿勢における骨盤アライメントに影響を与える因子の検討－オムツの装着方法での変化－	和田孝一郎	中村 守彦 馬庭 壯吉
佐藤 悠介	医修第161号	Supplementation of L-arginine boosts the therapeutic efficacy of anti-cancer chemoimmunotherapy	土屋美加子	松本 健一 原田 守
曾田 泰子	医修第162号	RRS導入における呼吸回数測定についての検討	狩野 賢二	廣瀬 昌博 並河 徹
田中 星奈	医修第163号	Klebsiella pneumoniaeの病原性発揮に鉄捕捉因子アエロバクチンが果たす役割の解明	織田 禎二	原田 守 吉山 裕規
橋添 佑季	医修第164号	SHRSPにおけるNox2および4欠損による脳卒中発症リスクへの影響	狩野 賢二	吉山 裕規 並河 徹
藤江 友哉	医修第165号	理学療法士のプロフェッショナルリズムに関連する因子の検討	田島 義証	織田 禎二 廣瀬 昌博
藤原 宇志	医修第166号	APDS2におけるLeniolisibの有効性の検討	馬庭 壯吉	中村 守彦 竹谷 健
HOQUE MOHAMMAD MAHBUBUL	医修第167号	Hydroxychloroquine promotes ABT-263-induced apoptosis of BxPC-3 human pancreatic cancer cells	松本 健一	土屋美加子 原田 守
松浦 航介	医修第168号	骨single photon emission computed tomography (SPECT)画像の定量解析時におけるSUV Thresholdの検討	長井 篤	中村 守彦 北垣 一

学位の種類：修士（看護学）

学位授与日：2020(令和2)年3月19日

氏名	学位記番号	論文名	主査	副査
飯塚 絃子	看修第149号	初発肺がん患者が薬物療法と就労を両立するうえでの困難と対応	原 祥子	橋本 龍樹 若崎 淳子
伊藤 千怜	看修第150号	キャリア初期看護師の看護実践能力と学習およびサポートとの関連	小笹 美子	橋本 龍樹 福間 美紀
井上 悦子	看修第151号	骨髄バンクコーディネーターの職務におけるやりがいと困難	福田 誠司	若崎 淳子 小笹 美子
井上 美香	看修第152号	副看護師長の役割遂行とその関連	橋本 龍樹	若崎 淳子 津本 優子
勝部美保子	看修第153号	訪問看護ステーション管理者の医療安全管理行動と関連要因	福田 誠司	小笹 美子 津本 優子
竹下 純子	看修第154号	看護師長の就任1年目の役割遂行状況と関連要因	福間 美紀	橋本 龍樹 津本 優子
今岡 春奈	看修第155号	中堅前期保健師の職場支援体制と実践能力との関連	津本 優子	福間 美紀 小笹 美子
光貞 美香	看修第156号	異変を感じてから前頭側頭型認知症の診断を受けるまでの配偶者の体験	若崎 淳子	福田 誠司 原 祥子

「島根大学医学部紀要」投稿要領

医学部欧文雑誌・紀要発行委員会

2011.6.1改訂

2016.6.7改訂

2020.6.17改訂

1. 投稿資格

投稿者は、島根大学医学部教員とする。それ以外の者が投稿を希望する場合は、著者の中に必ず島根大学医学部の常勤の教員が入らなければならない。

2. 原稿の内容

原稿は、他の雑誌に掲載済みあるいは投稿されていないものとし、和文、英文を問わない。また、他への投稿を禁ずる。すでに学会などで発表したものであればその旨を本文中に記載すること。なお英文については専門家の校閲を受けたものが望ましい。

3. 原稿の種類

- 1) 総説：特定のテーマに関し文献考察を行い研究を総括・解説したもの
- 2) 原著論文：独創的で、新しい知見や理解が論理的に示されている研究論文で、形式が整っているもの
- 3) 研究報告：研究結果の意義が大きい論文
- 4) 実践報告：臨床及び教育に関する手技・技術や実践方法に関するもの
- 5) その他：症例・事例報告、資料、翻訳など上記に該当しないもので委員会が適当と認めたもの

4. 倫理的配慮

投稿論文の研究が、人間を対象とする場合は「ヘルシンキ宣言」の趣旨に沿って、動物実験の場合は所属機関の基準等を遵守して行われたものでなければならない。また、個人を対象とした研究・調査などについては「倫理綱領などのガイドライン」に基づき、研究・調査対象者の人権やプライバシーに十分配慮したものでなければならない。原著論文及び症例報告にあつては、倫理委員会の承認を得たものであることとし、その旨を論文中に明記する。また、ヒトを対象とした研究報告は、論文中に配慮した内容を詳細に記載する。

5. 査読

査読者の意見をもとに、定められた期日までに内容を修正し再投稿する。

6. 原稿の採否

- 1) 投稿論文の採否は、医学部欧文雑誌・紀要発行委員会が行う。
- 2) 採択原稿については、最終原稿のWordファイルをメール添付で提出すること。

7. 投稿手続き

- 1) 「論文投稿用紙」を医学部ホームページよりダウンロードし、所定の事項を記入し添付する。
- 2) 投稿原稿はWordファイルを、下記「13. 原稿提出先」にメール添付で提出する。

8. 執筆要領

- 1) 原稿は、ワードプロセッサを使用し、A4縦置き、横書きとする。
和文は1ページにつき36字×30行で作成する。書体はMS明朝体10.5ポイントとする。
句点は（。）読点は（、）とする。
英文は1ページにつき25行で、270words程度、ダブルスペースで作成する。書体はTimes New Roman 12ポイントとする。
- 2) 欧文文字、算用数字は2字1コマとする。
- 3) 原稿本文の字数制限（図、表、文献を含む）は下記のとおり。
図、表はA4版大で2,000字（英語600words）、A4版の1/2大で1,000字（英語300words）、1/4大で500

字（英語150words）程度に換算する。

- (1) 総説：12,000字以内（英語3,000words以内）
 - (2) 原著論文：16,000字以内（英語4,000words以内）
 - (3) 研究報告：10,000字以内（英語3,000words以内）
 - (4) 実践報告：10,000字以内（英語3,000words以内）
 - (5) その他：8,000字以内（英語2,000words以内）
- 4) 和文要旨（400字以内）を付ける。また、原著論文には併せて英文要旨（200words以内）を付ける。
- 5) 原稿には表題紙をつけ以下の事項を記す。（和文の論文には、英語を併記する）
- (1) 論文タイトル
 - (2) 論文の内容を的確に表現するキーワード（5個以内）
 - (3) 著者名
 - (4) 所属（異なる機関に所属する者の共著である場合、所属ごとに番号を付しその番号を著者名の右肩に示した上で、著者名の下に一括して記す）
 - (5) 連絡先（所属、メールアドレス）
- 6) 原著論文は、目的、方法、結果、考察、結論、謝辞、文献の順に記載する。それぞれの見出しの言葉は変更して構わない。他の論文も目的、方法、結果、考察、結論に準じて記載する。
- 7) 本文の見出し順位は、以下のとおりとする。
- I. II. III.
1. 2. 3.
- 1) 2) 3)
- (1) (2) (3)
- 8) 略語を用いる場合は、初出で正式用語とともに提示し、その後略語を用いることを明記する。
- 9) 単位符号は原則としてSI単位を用いる。
- 10) 図、表、写真は1枚の用紙に1つずつ記載し、図1、表1などの番号を付け、まとめて原稿の末尾に添付する。表にはタテ線は使用しない。本文中には、図、表が挿入されるべき位置を欄外に赤字で明記する。
- 11) 文献の記載方法は次の形式による。
- (1) 本文の引用箇所に、引用順に1)、1,2)、1-4)などと肩番号を付す。
 - (2) 文献は、原稿末尾に一括して使用した順に記す。著者が4名以上の場合は、3名まで記載し、それ以外は、“他”または、“et al.”と省略する。
- (3) 記載例
- [雑誌の場合]
- ①著者. タイトル. 雑誌名（英語雑誌はイタリック）年; 巻: 頁-頁. の順に記す。
 - ②オンライン雑誌の場合は、DOIを記す。
 - ③雑誌名の略記は「医学中央雑誌」及び「MEDLINE (PubMed)」に従う。
 - ・宮本まゆみ, 津本優子, 福間美紀, 他. 離床センサーを用いた転倒リスク患者の離床行動の実態調査. 医療の質・安全学会誌 2013; 8(4): 317-23.
 - ・Haze S, Sasai K, Gozu Y. Effects of fragrance inhalation on sympathetic activity in normal adults. *Jpn J Pharmacol* 2002; 90: 247-53.
- [単行本の場合]
- ①編著者. 書籍タイトル. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年 (: 頁-頁). の順に記す。
 - ・宇都宮宏子. 退院支援実践ナビ. 東京: 医学書院; 2011: 17-29.
 - ②書籍の中の1章を引用した場合は、著者. 章タイトル. In: 編著者. 書籍タイトル. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年: 頁-頁. の順に記す。
 - ・荒木美千子. 脳・神経疾患患者のフィジカル・アセスメント. In: 川本利恵子, 編著. フィジカル・アセスメント2: 看護診断編. 東京: メジカルフレンド社; 1998: 2-15.
 - ③シリーズ中の書籍の場合は、シリーズのタイトルとその書籍の巻数を、出版年の後に記す。
 - ・須永 清, 落合 敏. 栄養学. 東京: 真興交易医書出版部; 1991. 本田良行, 石川稔生, 編. 現代看護学基礎講座; 11.

[翻訳書の場合]

著者名. 書籍タイトル. (版数.) 出版年. 翻訳者名. 和書名. (版数.) 出版地: 出版者; 出版年. の順に記す。
・ Benner P. From novice to expert: Excellence and power in clinical nursing practice. 1984. 井部俊子,
監訳. ベナー看護論. 新訳版. 東京: 医学書院; 2005.

[Webの情報の場合]

著者または、団体名. タイトル. ウェブサイト名. (掲載日, アクセス日). の順に記す。
・ 厚生労働省. 健康日本21 糖尿病. http://www1.mhlw.go.jp/topics/kenko21_11/b7f.html. (アクセス日
2016.5.10).

9. 著者校正

著者校正は原則として1回とし、校正に際して大幅な加筆、修正は認めない。

10. 費用

掲載料は無料とする。別刷は著者の自己負担とする。

11. 発行

原則として年1回とする。

12. 著作権

- 1) 本誌に掲載された論文、抄録の著作権（電子版を含む）は、島根大学医学部に帰属する。本誌掲載論文を転載する場合は、出典を明示すること。
- 2) 本誌に掲載された論文は、島根大学附属図書館ホームページの島根大学学術情報リポジトリ（SWAN）で公開する。

13. 原稿提出先

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1
島根大学附属図書館医学図書館「島根大学医学部紀要」編集事務担当
E-mail: shoji@lib.shimane-u.ac.jp

Shimane Daigaku Igakubu Kiyo (Bulletin of Shimane University Faculty of Medicine)

1. Qualification for authors

Teaching staffs of Shimane University Faculty of Medicine or teams which include at least one full-time teaching staff of the faculty are qualified for contributions of the manuscripts to "Shimane Daigaku Igakubu Kiyo".

2. Content of Manuscripts

The manuscript, which has not been published previously and is not currently under consideration elsewhere, is permitted to submit. Manuscript can be written in either Japanese or European language. Original article, case report, review article, short communication (not exceed 2000 and 3000 words in European and Japanese language, respectively), and translation can be accepted. A brief case report is preferably submitted as a short communication.

Ethics of human study

The editors agree with the principles laid down in the Declaration of Helsinki (1964). Authors should ensure that their work complies with this declaration. Papers describing experimental work with humans should include this statement. Study or research of humans should be based on ethical guidelines and sufficiently protect human rights and privacy.

Ethics of animal experimentation

Animal experiments should be performed in accordance with the rules of this institution. Procedures should be such that animals do not suffer unnecessarily.

3. Preparation of Manuscripts

For details on the form of manuscripts refer to "Shimane Daigaku Igakubu Kiyo" (Current number). Original article, case report, and short communication must include a summary (not exceed 200 and 400 words of European and Japanese, respectively). Original article should be divided into (a) Summary, (b) Introduction, (c) Materials and Methods, (d) Results, Discussion, (f) Acknowledgments, and (g) References.

The title page should include the complete title of the article, three English key words, the full name (s) of the author (s), and the name of the institution where the work was done. All manuscripts must be typewritten with double-spaced on one side of the paper. Tables and illustrations should be prepared on separate A4 sheets. Only good drawings and original photographs can be accepted. Each photograph should have its number, the author's name and 'top' on the back.

Please submit the original plus two hard copies of the article including text, references, legends, tables, and figures.

4. The Editorial Board of the Shimane Journal of Medical Science and Bulletin of Shimane University Faculty of Medicine reserves the right to reject and edit the manuscript. When the manuscript is accepted for publication, the authors are required to submit a final version of the manuscript in Microsoft Word file to the editorial office via e-mail.

5. "Shimane Daigaku Igakubu Kiyo" is published annually.

6. Copyright for all articles and abstracts published in Shimane Daigaku Igakubu Kiyo, either in printed forms or digital files, is retained by Shimane University Faculty of Medicine. No part of this publication may be reproduced, cited, or transmitted in any form or by any means without providing a credit in written form.

The articles published in Shimane Daigaku Igakubu Kiyo are to be available on the Shimane University Web Archives of Knowledge (SWAN) of a Shimane University Library homepage.

Manuscript and all Correspondence should be addressed to the Editor-in-Chief, c/o Shimane University Medical Library, Izumo, Shimane 693-8501, Japan.